

令和元年度事業報告書

社会福祉協議会では、「住みやすく支え合いを実感できるまちづくり」を基本理念として掲げ、住みやすい環境で、地域の人々がお互いに支え合い、だれもが生涯輝いて暮らせる地域を目指し活動してきました。

複合的な課題が山積する昨今、住民同士のつながりが希薄化していく中、福祉ニーズも多様化し、地域住民や諸団体の参加と協力、協働による多様な福祉活動や福祉サービスの一層の充実が求められています。

また、近年における福祉を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、少子高齢化の急速な進展や核家族化に伴う家庭・家族の間でのコミュニケーション不足など様々な要因を背景にこれからの地域福祉の在り方が問われています。特に認知症高齢者や一人暮らし高齢者が増加し、地域社会や家族形態が変化する中、介護保険では対応できない生活支援ニーズや社会的孤立、貧困等を背景とする深刻な福祉・生活課題が顕在化しています。

こうしたことから、地域のなかで不安を抱える人が孤立することのないよう、地域住民がみんなの問題の解決に向けて考え、支え合い、助け合いながら自分にできる範囲で活動できる仕組みを広め、また発掘し、地域の福祉力を高める活動を、市内8地区において行政及び関係する団体と共に進めている地域支え合い協議体のなかでも盛んに議論されています。

社会福祉協議会は、公的な福祉サービスだけでは対応できない生活課題や、公的な福祉サービスでの総合的な対応が不十分であることなどから生まれる問題等を、藤岡市はもとより関係機関や関係団体等との緊密な連携を図りながら令和元年度事業計画で定めた重点事業である「健全な法人運営の在り方」「介護保険事業の安定した運営」「総合相談窓口の設置運営」「ボランティアセンターの充実」等に努め以下の事業を実施いたしました。

1. 会員の状況

普通会員	19,847世帯
賛助会員	151世帯
特別賛助会員	332社

2. 理事会・評議員会等開催状況

理事会	5回	決議の省略2回
評議員会	3回	決議の省略1回
監査会	1回	
総務委員会	2回	
広報委員会	3回	
評議員選任・解任委員会	2回	決議の省略1回

3. 広報活動

(1) 広報紙「ふじおか社協だより」の発行

地域福祉の推進と啓発を目的に、本会の各種事業や募集等の情報を掲載した広報誌を発行しました。A4 2色8ページの広報紙を5月・9月・1月の年3回にわたり、市内全戸及び特別賛助会員並びに関係機関に配布しました。

(2) ホームページ管理運営

事業計画及び事業報告並びに計算書類等の掲載の他、各種事業の募集等を広く市民に発信するために、本会ホームページの適切な管理運営に努めました。

4. 指導・育成

①本会役職員の研修について

内部研修の他、他機関の研修会等への参加を通じて資質の向上や知識の習得に努めました。

②実習生の受入れ

次世代を担う人材を育成するため、実習生の受け入れを行いました。対象は藤岡市在住、在勤、在職者で、社会福祉士養成における相談援助実習や教員の介護現場実習等、資格や単位取得に向けた内容の他、高校生や地元小中学生の体験学習の受入れも行いました。

5. 地域福祉活動

心配ごと相談や結婚相談を定期的で開催し、社会不安の解消や結婚活動の相談等に努めました。

事業名	開催日数	相談件数	紹介件数	成立件数
心配ごと相談事業	42日	37件	—	—
結婚相談事業	30日	135件	6件	1件

◇ 成年後見・相続・遺言に関する無料相談会（新規事業）

・コスモス成年後見センター（行政書士）と協力して、専門的な相談に応じました。

相談件数	30件
------	-----

6. 善意銀行

市民の善意に基づく金品の寄附を受けました。

種類	件数	金額	摘要
一般寄附	17件	1,909,468円	
愛の募金	3件	84,372円	
物品	29件	—	米、タオル、介護用品、その他日用品等

7. 福祉関係団体助成

福祉関係団体等と連携を図り活動の推進に努めると共に、民生委員児童委員協議会、連合婦人会、子ども会育成会、保育園長会、支部社会福祉協議会に助成を行いました。

8. 収益事業

(1) 福祉バザー

藤岡市民ホールを会場に区長会、民生委員児童委員協議会、連合婦人会、ボランティア連絡協議会と協働し福祉バザーを行いました。

- ・開 催 日 令和元年6月23日（日） 午前10時～
- ・提供物品数 4,182点
- ・売上金額 756,600円

(2) 自動販売機清涼飲料水売り上げ代

- ・収益金 151,597円

9. 歳末たすけあい運動

「みんなで支え合う温かい地域づくり」を目指して、毎戸100円以上のたすけあい募金をお願いしました。

地区名	平成30年度	令和元年度	前年対比
藤 岡	448,260円	444,860円	△3,400円
神 流	256,500円	256,500円	0円
小 野	373,700円	366,800円	△6,900円
美土里	232,000円	233,000円	1,000円
美九里	161,900円	161,100円	△800円
平 井	126,200円	124,400円	△1,800円
日 野	53,400円	53,700円	300円
鬼 石	199,500円	198,630円	△870円
合 計	1,851,460円	1,838,990円	△12,470円

10. 各種援助活動

生活が困窮している社会的弱者を対象に、群馬県社会福祉協議会と連携のもと、相談支援や資金の貸付を行い安定した生活が送れるよう制度の推進に努めました。

(1) 貸付、給付事業

生活福祉資金貸付事業	件 数	貸 付 額
総合支援資金（離職者支援資金含む）	0件	0円
福祉資金（福祉費）	2件	319,000円
〃（緊急小口資金）	13件	735,000円
教育支援資金	0件	0円
不動産担保型生活資金	0件	0円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0円
新型コロナウイルス関連の特例貸付（新）	8件	1,500,000円
合 計	21件	2,235,000円

独自制度	件数	貸付額
小口生活資金貸付事業	0件	0円
緊急時食料支援事業	4件	8,663円

(2) 災害見舞い

種別	件数	見舞金詳細
災害見舞い	5件	全焼(全壊) 10,000円/1件につき 3件
		半焼(半壊) 5,000円/1件につき 0件
		死亡 10,000円/1人につき 2件

(3) 行路者救済

種別	件数	金額	備考
行路者救済	2件	600円	300円/1件につき

11. 日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が安心して生活ができるよう、日常的な金銭管理や通帳預かり等の支援を行いました。また、適切な支援を行うことが出来るよう、生活支援員の資質向上に向けた研修会等を開催しました。

・実施状況

実利用者数	50人
延べ利用者数	493人
相談件数	846件
新規契約件数	5件

※内訳 認知症高齢者 1件、精神障害者 3件
知的障害者 1件

・生活支援員

登録数	延べ稼働時間	賃金
31人	779時間	850円/1時間

12. 生活困窮者自立支援事業

藤岡市より生活困窮者自立支援事業の委託を受け、就労の支援、その他の自立に関する問題について生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行いました。

新規相談件数	相談支援事業申込件数	プラン作成件数	支援調整会議開催日数
105件	28件	39件	6回

◇制服バンク事業(新規事業)

市内に居住する低所得世帯等の生徒が安心して学習に取り組めるよう、就学支援の一環として、家庭で不要になった制服を無償で提供していただき、必要とされる生徒に活用していただくために「制服バンク事業」を実施しました。

たくさんの方々からご提供いただき、2世帯3名にお渡ししました。

13. 生活支援体制整備事業

藤岡市より生活支援体制整備事業の委託を受け、地域における支え合いの体制づくりの推進を目的として、第2層協議体や第一層に係わる会議の開催、協議体委員を対象とした研修会の開催等を行いました。

開催内容	開催数
第2層協議体（市内8地区）	45回
第1層分科会（第1～2分科会）	12回
第1層全体会	2回

- ・ 地域の見守り講演会の開催

開催日 令和2年1月29日（水） 参加者数 98名

- ・ 藤岡市地域支え合い協議体講演会の開催

開催日 令和2年2月20日（木） 参加者数 170名

14. 総合相談窓口

総務課内に相談窓口を開設し、誰にも助けを求められずに、社会的に孤立している人や制度の狭間で支援を受けられない人などに対し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が様々な生活課題を抱える世帯への相談支援を行いました。

- ・ 実施状況

開所日数	相談件数	
	実件数	延件数
238日	77件	368件

- ・ 実相談件数内訳

相談内容	件数	相談内容	件数
病気や健康・障害のことについて	10件	生活費について	7件
就労、仕事上の不安等について	5件	衛生環境のことについて	2件
家族との関係について	6件	地域との関係について	7件
ひきこもり・不登校について	5件	介護関連のことについて	9件
住まいについて	3件	生活福祉資金について	3件
税金や公共料金等の支払について	2件	債務について	1件
子育てについて	2件	食料について	0件
DV・虐待について	3件	その他	12件

◇ コミュニティソーシャルワーカー（CSW）による、地域住民と生活困窮世帯の子どもたちとの交流事業を実施しました。（新規事業）

- ・ 苗植え体験 令和元年5月26日（日） 参加人数 子ども12名 保護者4名
- ・ 収穫祭 令和元年7月28日（日） 参加人数 子ども11名 保護者3名

◇ 衛生環境改善活動 令和2年2月21日（金）コミュニティソーシャルワーカー（CSW）が中心となり、行政、民生委員児童委員、関係機関と実施しました。

◇ なんでも福祉相談 群馬県社会福祉協議会と連携し、あらゆる相談に対応できる窓口の設置を行いました。（新規事業）

15. 高齢者自立センター事業

介護認定審査により、要介護認定結果が非該当で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に、事業を推進しました。

	事業名	実施日数	延べ利用者数
藤岡市高齢者 自立センター藤岡	デイサービス事業	134日	1,329人
	ホームヘルプ事業	167日	447人
	転倒骨折予防	37日	185人
	短期集中トレーニング	42日	157人
藤岡市高齢者 自立センター鬼石	デイサービス事業	136日	596人
	ホームヘルプ事業	144日	179人
	転倒骨折予防	37日	139人
	短期集中トレーニング	14日	44人

16. ミニデイサービス事業

概ね75歳以上の高齢者を対象に市内68会場でミニデイサービスを開催し、地域で暮らす高齢者の介護予防に努めました。

延べ利用者数	4,739人
延べ実施回数	705回（1会場につき月1回開催）
会場数	68か所

17. 学童保育所運営事業

仕事などの事情で昼間保護者がいない家庭の児童を預かる「みどの学童クラブ」の運営を市から委託を受け行いました。

開所日数	255日
登録児童数	40人

18. 栗須の郷運営事業

浴場の利用やレクリエーションの場等を提供して、市民福祉の向上に努めました。

開所日数	280日
延べ利用者数	63,813人（内・市民53,635人 全体の84.05%）

22. 福祉車両貸出事業

藤岡市より福祉車両貸出事業の委託を受け、介護を必要とする高齢者や障害者等に、車いすごと乗降可能な自動車を貸し出し、社会参加と生活圏の拡大を図ることを目的とした事業を行いました。

- ・貸出件数 35件

23. 福祉教育推進事業

児童・生徒が体験学習の機会を通じて、社会福祉への理解と関心を高めると共に、日常生活面での相互扶助、社会連帯が大切なことを認識してもらうため、小・中学校生を対象に福祉教育の推進を図りました。また、高齢者疑似体験用具の貸出や実習実施の際にも福祉教育の推進に努めました。

24. 安心カード交付事業

緊急連絡先、かかりつけ医、服薬等の情報を記載したカードを冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時や急変時に対応が出来る、安心・便利な「安心カード」の配布を行いました。

この事業は平成24年度から、藤岡市民生児童委員協議会と共催で実施しています。

- ・累計配布状況

配布先	世帯数
65歳以上一人暮らし世帯	1,223世帯
障害者（児）のいる世帯	92世帯
その他の世帯	185世帯
合計	1,500世帯

25. 見守り支援推進事業

様々な生活課題が地域に山積している中、ひきこもりに焦点をしぼり、ひきこもりの家族の方がリフレッシュ出来ることを目的としたサロンの実施、啓発を目的とした講演会の開催等を行いました。

- ・「ほっとサロン」実施状況

延べ開催数	11回
延べ参加者数	13名

- ・ひきこもりの家族を支える講演会

開催日 令和2年2月12日（水）

演題 「ひきこもりの理解から支援へ 地域みんなで支えあうまちづくり」

参加者数 63名

26. 在宅福祉サービス

(1) 介護保険サービス

サービス種別	営業日数	実施状況	
居宅介護支援	240日	延べケアプラン作成数	1,420件
通所介護（デイサービス）	289日	延べ利用者数	4,220人

(2) 介護保険外サービス

サービス種別	開所日数	実施状況	
在宅介護支援センター栗須	366日	延べ相談件数（訪問含む）	1,173件
在宅介護支援センター鬼石	366日	〃	1,182件

サービス種別	営業日数	実施状況	
通所介護（身障者デイサービス）	289日	延べ利用者数	44人

サービス種別	営業日数	実施状況	
介護タクシー	100日	延べ稼働数	256回

27. 障害福祉サービス事業所さくらの家の事業経営

障害福祉サービス事業所の指定を受け事業経営を行いました。

種別	開所日数	年間利用者数	登録人数	平均工賃（月額）
生活介護事業	243日	2,455人	11人	5,057円
就労継続支援B型事業	243日	2,465人	16人	10,033円